

「魅力ある高等学校づくり」に向けた第2分科会における検討について

将来の高等学校教育を見据えた「魅力ある高等学校づくり」に向けた基本的な考え方

■検討に当たっての視点

- 急激に変化する社会における本県ならではの高等学校教育
- 子どもたちの夢や志の実現を県全体が一体となって支えるための環境づくり

■これからの時代に求められる力と人財像

- 知・徳・体の調和のとれた生きる力や主体性・コミュニケーション能力、自己肯定感、多様性を尊重する心、地域・郷土を愛する心の「不易な力」
- 課題発見・解決する力や地域を支える心、大志を抱き世界へ挑戦する心、主体的に未来社会を切り拓く力等の「子どもたちの夢や志に応じた力」
- 柔軟性や創造性等の「変化の激しい社会において求められる力」
- 青森県や地域の発展に貢献できる人財、イノベーションを創出する志や創造性を持った社会を牽引できる人財、職業の多様化に対応できる人財

■高等学校に求められること

- 生まれた場所や家庭環境にかかわらず、全ての子どもたちに一定の水準を満たした教育を提供することによるウェルビーイングの実現と、誰一人取り残さないきめ細かな教育の提供
- 全ての子どもたちが安心して学べる環境づくり
- 各校の特色を生かし多様な主体と連携・協働した教育活動全体の更なる魅力化
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 探究的な学びや学科横断的な学び、STEAM教育等の充実
- 学校・学科の魅力づくりと、それに向けた様々な教育制度等の下での環境整備
- 全ての生徒に対するキャリア教育の充実

■第2分科会における検討の目的

今後、中学校卒業生数の更なる減少が見込まれる中においても、生徒がこれからの時代に求められる力を身に付けるための学びを提供できる教育環境の整備が求められていることから、生徒一人一人に充実した教育環境を提供するための学校配置の方向性について検討する。

【学校配置の方向性の検討に当たっての視点】

※資料3を踏まえ作成した検討項目等

「高等学校教育を受ける機会の確保」と「充実した教育環境の整備」

<学校配置の方向性>

6地区ごとの学校配置

学校規模

学級編制

定時制・通信制課程の配置

再編の方法（学科の統合や異なる学科の高校の統合・教育環境の充実に向けた他の方策）

<小規模校（地域校）の配置の方向性>

小規模校の配置

地域校の活性化

募集停止等の基準

ICT等の活用

通学手段の確保・通学支援等（通学できる環境づくり、自治体等との連携）

<学校配置と合わせて検討すべき事項>

人的・予算的な対応

私立高校との関係

検討内容を取りまとめた資料（たたき台）の精査

■学校配置の方向性（たたき台）

○学校配置の基本的な考え方

【整理に当たっての視点】

- ・ 中学校卒業生数の減少も見据えるとともに、地域の実情も考慮した「高等学校教育を受ける機会の確保」と「充実した教育環境の整備」のバランス
- ・ 生徒の学びたいという思いに応える教育環境づくり、生徒が求める学校づくり

○学校配置の方向性

【整理に当たっての視点】

- ・ 高等学校や学科等の選択肢の確保のための学校配置、各校の役割や実情等に応じて必要となる学校規模、学級編制
- ・ 一人一人に充実した教育環境を提供するための学校配置に向けた再編の方法等

○小規模校（地域校）の配置の方向性

【整理に当たっての視点】

- ・ 通学可能な範囲と下宿での対応等の観点も含めた小規模校の配置の方向性や、自治体等との連携による通学手段の確保、通学支援、小規模校の特性等を踏まえた活性化（教育環境の充実）に向けた方策等

○学校配置と合わせて検討すべき事項

（地域の
意見確認）

■地区部会

「学校配置の方向性（たたき台）」に対する各地区の意見取りまとめ

更なる
検討・
整理

■学校配置の方向性（整理案）

各地区部会からのたたき台に対する意見等を踏まえ、「学校配置の方向性（整理案）」として作成